

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス豊見城教室別館			
○保護者評価実施期間	2026年2月5日		～	2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2026年2月5日		～	2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容を工夫し、利用児童が楽しみながら通所できる支援を行っている。	運動療育に加え、公園活動やイベント活動、個別課題などを取り入れ、活動が固定化しないよう工夫しています。また、利用児童との信頼関係を大切にし、安心して過ごせる環境づくりを行っています。	利用児童の興味やニーズを日々の関わりの中から把握し、個別活動と集団活動のバランスを取りながら、より満足度の高い活動を提供していきます。
2	利用児童一人ひとりの特性や状況に応じた支援を、職員間で連携しながら行っている。	支援開始前後の打ち合わせや日々の記録を通して情報共有を行い、放課後等デイサービス計画に基づいた支援を行っています。また、多職種が連携し、利用児童の状況に応じた支援を行っています。	支援目標や計画内容について、職員全体でより共有しやすい仕組みを整え、支援の質の向上につなげていきます。
3	活動の様子や利用児童の状況を、保護者様へ丁寧に伝える取り組みを行っている。	送迎時の申し送りやLINE、ブログ等を活用し、活動の様子や利用児童の状況を分かりやすく伝えるようにしています。	活動内容や予定について、事前に分かりやすく伝えるなど、情報発信の方法についてさらに工夫していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や家族支援の機会が十分に周知されていない。	相談や面談は随時対応していますが、その機会について十分に周知できていない場合があります。また、交流の機会についても参加しやすい形での実施方法が課題となっています。	相談や面談が可能であることをLINE等で定期的に周知するとともに、保護者様のニーズを踏まえながら、参加しやすい形での情報交換や交流の機会について検討していきます。
2	地域との交流や他機関との連携の機会をさらに充実させる必要がある。	公園活動や地域イベントへの参加などの機会がありますが、計画的な交流の場の設定が十分とはいえない状況があります。	利用児童の状況に配慮しながら、地域の活動への参加や交流の機会について計画的に検討していきます。
3	職員間の情報共有や研修機会の充実が必要である。	ミーティング時間の確保や情報共有の方法について改善の必要性が挙げられています。また、業務状況により研修受講に差が生じる場合があります。	業務分担の見直しや共有方法の工夫を行い、全職員が支援内容を共有しやすい体制づくりを進めるとともに、研修の機会を確保していきます。